

## ◎決算の概要 介護保険(介護勘定)

### ■収入

科 目	決算額 (千円)	介護保険第2号被保険者 たる被保険者等 1人当たり額 (円)
介護保険収入	295,151	119,834
雑収入	8	3
合 計	295,159	119,837

### ■支出

科 目	決算額 (千円)	介護保険第2号被保険者 たる被保険者等 1人当たり額 (円)
介護納付金	253,647	102,983
合 計	253,647	102,983

収入支出差引額	41,512千円
---------	----------

## ◎決算の概要 健康保険(一般勘定)

### ■収入

科 目	決算額 (千円)
健康保険収入	2,703,755
〔保険料〕	2,703,166
〔国庫負担金収入〕	589
調整保険料収入	47,695
繰入金	41,752
国庫補助金収入	19,353
財政調整事業交付金	45,961
雑収入	10,456
合 計 (A)	2,868,972
経常収入合計 (C)	2,716,952

### ■支出

科 目	決算額 (千円)
事務費	63,954
保険給付費	1,105,842
〔法定給付費〕	1,052,980
〔付加給付費〕	52,862
納付金	1,399,310
〔前期高齢者納付金〕	718,873
〔後期高齢者支援金〕	673,332
〔病床転換支援金〕	3
〔退職者給付拠出金〕	7,102
保健事業費	97,249
財政調整事業拠出金	47,507
連合会費	981
積立金	656
その他	177
合 計 (B)	2,715,676
経常支出合計 (D)	2,668,024

収入支出差引額 (A)-(B)	153,296千円
経常収入支出差引額 (C)-(D)	48,928千円

### 組合会(令和元年7月25日開催) 主な議題および報告事項について

#### 【議案】

組合会において以下の議案について可決されました

#### 第1号議案

平成30年度事業報告書承認の件

#### 第2号議案

平成30年度収入支出決算案の承認の件

#### 第3号議案

理事長専決事項 報告・承認の件

#### 【報告事項】

- ①議員総選挙選挙長・投票管理者選任について
- ②令和元年度財産運用の方針に基づく預貯金運用の方針について
- ③特定健康診査・特定保健指導の実施状況について
- ④ジェネリック医薬品利用状況について
- ⑤受診勧奨通知効果について
- ⑥健康年齢、健康マップについて

### ◆Web版医療費通知をご活用ください

当健保組合のホームページでは、医療費通知のほか、ジェネリック医薬品のお知らせも閲覧できます。詳しくは、ホームページトップ画面のWeb版医療費通知をご覧ください。

### ◆特定健診受診率向上にご協力ください

40歳以上の加入者の皆さんが年に1度必ず受診する特定健診の受診率は以下の通りとなりました。今年も必ず健診を受けましょう。

#### ○特定健診診査実績

	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
被保険者受診率	82%	80%	81%	86%	87%
被扶養者受診率	48%	49%	49%	54%	56%
全 体	71%	70%	71%	76%	78%

## ■平成30年度決算のお知らせ■

# 健康保険料率を千分の84に引き上げての運営 予算比での保険料収入増加と保険給付費減少により 経常収支黒字を確保

当健保組合の平成30年度決算が、7月25日(木)に開催された組合会において可決・承認されましたので、その概要をお知らせいたします。

### ●健保組合を取り巻く状況

健康保険組合連合会が発表した「平成31年度健保組合予算早期集計結果」によると、平成31年度の全国の健保組合全体の経常収支は986億円の赤字が見込まれています。

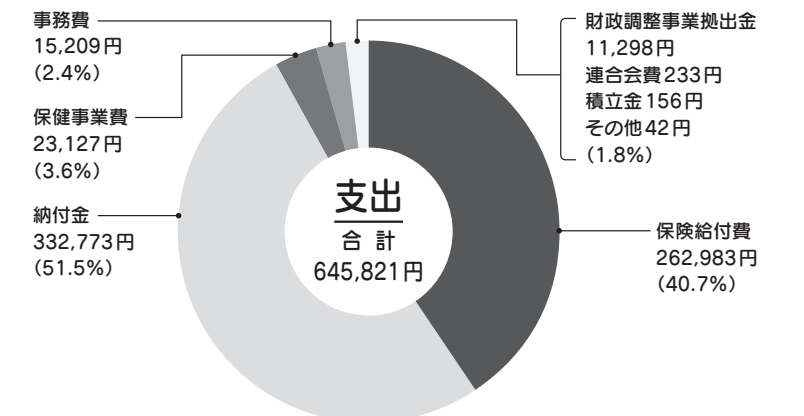
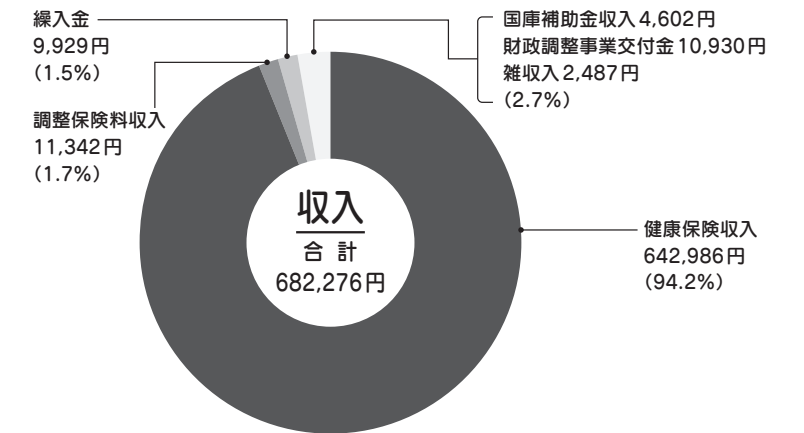
平成30年度予算に比べると健保組合全体の経常収支赤字額は371億円の減となりましたが、赤字の組合は856組合で全体の6割超、高齢者医療への支援金・納付金は前年度比525億円減の3兆4、435億円となっております。

国民皆保険制度を維持していくために、健康保険組合連合会では、高齢者医療費の負担構造改革をはじめとして、医療費適正化や、データヘルス計画の推進を主張しています。

### ●健康保険(一般勘定)

収入の大部分を占める保険料は、前年度比1、227万円減の27億317万円となりました。支出は保険給付費が前年度比943万円減の11億584万円、高齢者医療への納付金が前年度比1億3、263万円増の13億9、931万円となりました。納付金が増えた理由は、前期高齢者納付金が団塊の世代の高齢化に加えて、過

### ◎被保険者1人当たりの収支の割合【健康保険(一般勘定)】



年度調整分が追徴になったこと、後期高齢者支援金では総報酬割に移行したことが影響しています。依然として納付金の負担が健保組合財政に重くのしかかっています。

収入支出差引額は1億5、330万円、実質的な財政状況である経常収支では4、893万円の黒字となりました。

30年度は料率を千分の84に引き上げたこともあり、黒字決算となりました。

### ●介護保険(介護勘定)

介護保険料による収入は2億9、516万円、一方、国に納める介護納付金は2億5、365万円、収支差引額は4、151万円の黒字となりました。

が、これからは保険給付費や納付金は増大すると予測され、健保組合にとってはまだまだ厳しい状況が続きます。